



「大きな声で！元気いっぱい！」

23P

明日へのひびき  
二人三脚で想いを形に

13P

町政を問う  
限界集落化の現状

8P

総括質疑  
大切なお金の使い道

2P

新議員紹介  
人口減少社会に向かつて



# 人口減少社会に向かっています！

## 新議員決まる

4月4日、一般選挙後の初議会が招集され、議長・副議長の選任、各委員会の構成等が決まりました。  
議長選挙・副議長選挙にはそれぞれ1名が立候補し、所信表明後、議長に眞壁範幸議員が、副議長に眞幡善次議員が指名推薦により選任されました。  
議員の任期は令和6年4月1日から4年間です。  
掲載順は、議長、副議長、議席番号順です。

**1** 郷土愛、探求心、生きる力を育む教育の推進。地域の自主的・自発的活動を支援。



おおもと はるひさ  
**大本 治久** 43歳 当選1回目

- 産業建設教育常任委員会 委員
- 議会広聴・広報委員会 委員
- 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 常任委員

**2** スキー場跡地の有効活用。仕事を増やし経済を活性化。農林業の推進。



ささき あきお  
**佐々木 昭雄** 58歳 当選1回目

- 産業建設教育常任委員会 副委員長
- 議会広聴・広報委員会 委員

**3** 図書館設置で新たな居場所づくり。働く若者の声を伺い後押しを推進。



しもとまい あさこ  
**下斗米 麻子** 62歳 当選1回

- 総務民生常任委員会 委員
- 議会広聴・広報委員会 副委員長

**13** 町の将来を担う若者への支援。教育の充実と子育て支援。意見交換会の開催。



まかべ のりゆき  
**眞壁 範幸** 74歳 当選6回目

- 議長

**12** 議員定数削減・報酬増額で若い世代の政治参画を。企業誘致で働く場の確保へ。



まはた ぜんじ  
**眞幡 善次** 73歳 当選4回目

- 副議長
- 総務民生常任委員会 委員

**10** 自主財源の確保。教育環境の推進。幅広い助成施策の充実。



いこま じゅんいち  
**生駒 純一** 73歳 当選7回目

- 産業建設教育常任委員会 委員
- 議会運営委員会 委員長

**11** 子どもの未来へ向けた施策。防犯灯・防犯カメラの設置。地域振興の推進。



さとう しんいちろう  
**佐藤 新一郎** 76歳 当選7回目

- 産業建設教育常任委員会 委員
- 議会運営委員会 委員

**7** 公平公正を重んじる議会へ。適正な議員定数の実現。カワウの被害完封。



さとう しょうこう  
**佐藤 昭光** 75歳 当選3回目

- 総務民生常任委員会 副委員長
- 議会広聴・広報委員会 委員
- 宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員

**8** 農業振興へ予算を拡充。デマンド交通の実現。高校生の通学補助を導入へ。



たかはし よしのり  
**高橋 義則** 68歳 当選3回目

- 産業建設教育常任委員会 委員長
- 議会広聴・広報委員会 委員
- 議会運営委員会 委員

**9** 議会の役割である監視機能と今後のまちづくりに対する提言を基本に活動。



まとば かなめ  
**的場 要** 52歳 当選5回目

- 総務民生常任委員会 委員長
- 議会運営委員会 委員
- 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 常任委員

**4** 遊休農地を荒廃化させない防止対策。用水路等工事推進、地元負担金の軽減対策。



いまだ かつはる  
**今田 勝春** 76歳 当選2回目

- 総務民生常任委員会 委員
- 議会広聴・広報委員会 委員
- 監査委員(議会選出)

**5** 目の前の課題・問題に向き合い、柔軟で身の丈に合った町政運営の推奨。



さとう きよたか  
**佐藤 清隆** 50歳 当選2回目

- 総務民生常任委員会 委員
- 議会広聴・広報委員会 委員長
- 議会運営委員会 委員
- 仙南地域広域行政事務組合 議会議員

**6** 企業誘致の推進。既存企業への支援で将来へ継続可能な環境を整備する政策。



えんどう まさのぶ  
**遠藤 雅信** 80歳 当選2回目

- 産業建設教育常任委員会 委員
- 議会広聴・広報委員会 委員
- 議会運営委員会 副委員長

より良い町にするチヨロ!!



※年齢は4月1日現在。



令和6年度一般会計

# 新たな教育 施設整備へ

## 3月 会議

会議は、2月28日から3月8日に開きました。提出された議案は、契約案1件、指定管理者の指定案1件、事業計画案1件、条例改正案等8件、新年度予算案8件、補正予算案6件、人事案1件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。ここでは新年度予算の主な事業を紹介します。



消防車両購入事業 **1421万円**



基本構想策定へ  
川崎小学校建設事業 **400万円**



有害鳥獣対策事業 **2363万円**



高校生まで医療費無料  
こども医療費  
助成事業 **1921万円**



川崎町の魅力  
発進事業 **1239万円**



予防接種・各種検診を実施  
疾病予防事業 **6652万円**



橋梁補修事業 **9200万円**

### 各会計予算

一般会計	53億円
国民健康保険特別会計	12億7851万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億911万円
介護保険特別会計	11億5904万円
温泉事業特別会計	2797万円
病院事業会計(支出)	9億8805万円
水道事業会計(支出)	4億6269万円
公共下水道事業会計(支出)	8億9271万円
全会計合計	102億1808万円

### ポイント

- 一般会計は昨年度当初より1億円の減額
- スキー場閉鎖に伴い維持管理費が大幅減
- 太陽光発電設備等の設置により固定資産税の増額見込み
- 子育て支援や妊産婦への交通費助成など1996万円増額
- 公共下水道事業特別会計が今年度から公営企業会計※に

※公営企業会計…一般会計と切り離して別個に経理される会計。

新年度予算

新年度予算

# R6予算を集中審議

令和6年度の各会計予算を審議するため特別委員会を設置しました。委員長に的場要委員、副委員長に佐藤清隆委員を選任し、3月5日から7日にわたり審議しました。

質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。



的場要委員長 佐藤清隆副委員長

## 災害に備えて

遠藤美津子委員

**問** 新たに購入する防災備蓄品の内訳は。

総務課

**答** 食料品の更新やブルーシート、トイレ用品、令和5年度に建設水道課が購入した給水タンクを総務課でも購入します。購入費用の3分の1は県の総合補助金を活用します。



▲能登支援を教訓に

## 通学路の安全は

眞幡善次委員

**問** 通学路の危険ブロック塀は何カ所把握していますか。また、今後の対策は。

建設水道課

**答** 162カ所を調査し、危険の判断が39カ所、そのうち22カ所が対応済みです。残り17カ所は所有者に対して通知や訪問をし、早めに対応してもらおうよう働きかけています。



▲継続的な働き掛けを

## 団員の確保を

高橋義則委員

**問** 消防団では団員の少ない班が見受けられます。今後の対応は。

総務課

**答** 令和5年度の実績は4名の増員でした。また、現団員から勧誘の声掛けをしていただくようお願いしています。組織の改変は、消防団員の意見等を考慮しながら検討していきます。



▲地域を守る組織づくりへ

## 割増商品券の発行

佐藤清隆委員

**問** プレミアム商品券事業補助金を450万円計上していますが、具体的な内容とスケジュールは。

地域振興課

**答** 金額は3割増しの商品券を考慮しており、1万円で1万30000円のもの、10000円のもの、100000円のものを用意する予定です。時期は未定ですが、物価高騰に関する国の交付金などを見定め、発行の準備を進めます。



▲物価高騰対策として

## 適正な管理を

佐藤新一郎委員

**問** 防火水槽の整備箇所はどこですか。また、水が溜まっていない防火水槽があるようすが、管理体制は。

総務課

**答** 整備箇所は全て小野地区です。防火水槽は、消防団に水利の保全、消防署からの巡回をお願いしている状況です。改めて現場を確認し調査を行います。



▲有事に備えて

## 自転車の安全を

佐藤清隆委員

**問** 自転車用ヘルメットの補助金は、実績を踏まえて200人分の予算を計上しているのですか。

総務課

**答** 現時点での申請件数は31件です。未申請の児童生徒と新入学生、一般市民の申請も考慮し計上しています。



▲持続可能な地域活動へ

## 新たな組織化は

高橋義則委員

**問** 多面的機能支払交付金の取組団体が8組織ありますが、これ以外の地区で組織化する動きはありますか。

農林課

**答** 今年度以前川東部、前川西部行政区で説明会を行いました。また、立野や野上行政区にも情報共有しており、前川東部では令和7年度から多面的事業に取り組み計画です。



▲安全への第一歩

## 管理は適正か

生駒純一委員

**問** 第5分団青根班の消防ポンプ車の管理状況は。

総務課

**答** 青根班の車庫は青根温泉中心部にあり、往復に時間がかかることから班長の自宅で管理をしています。4月からは車庫で管理することとします。



▲長く大切に使う

## 観光施設の管理は

遠藤美津子委員

**問** るぽやじやっぼの湯など、観光施設の管理は今後どのように対応していくのですか。

地域振興課

**答** 軽微な修繕は原材料等を購入し、職員が指定管理者とともに現場で対応しています。金額が大きいものは、修繕範囲が大きい場合は、関係業者と現場を確認し、方向性を検討していきます。



▲定期的なメンテナンスを

## 防犯カメラ設置を

眞幡善次委員

**問** 防犯カメラを設置してほしいとの声があります。町への問い合わせ等がありますか。

総務課

**答** 住民懇談会や行方不明者の捜索時に話がありました。設置の費用や維持管理の費用、設置箇所の選定など、設置するにはもう少し検討が必要だと考えています。



▲抑止力にもつながる

# 大切なお金の使い道

# 総括質疑

3月7日、予算特別委員会最終日に総括質疑を行いました。質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。

## 更なる取得率向上へ

眞幡善次委員

**問** 当町のマイナンバーカード取得率は75%で、県平均より低い状況です。秋から健康保険証が一本化されることもあります。新たな取得率向上の考えは。

町民生活課長

**答** 病院待合室等に出張申請受付窓口の開設を考えています。また、郵便局で申請できる取り組みの提案を受けていますので、これも活用しながら普及推進に努めます。



▲郵便局との連携へ

## 備蓄品の充実を

遠藤美津子委員

**問** 防災備蓄品購入経費を230万円計上し、食料品や簡易トイレなどを増やす予定となつています。能登町へ職員を派遣した経験に基づき、備蓄品の種類、量をしっかりと精査した上で備える必要があると考えますが。

総務課長

**答** 派遣した能登町の状況や川崎町の現況を総合的に判断し、購入するものを再度精査して対応します。



▲脱炭素に向けて

## ゼロカーボンへ

佐藤清隆委員

**問** 今回新設された住宅用スマートエネルギー施設普及促進事業は、ゼロカーボンシティの宣言から第一弾目の重要な取り組みです。周知方法は。

町民生活課長

**答** この事業は非常に重要なものと捉えています。議会の議決を受けましたら、ホームページなどで早めに発信、また、町広報紙での周知も進めていきたいと思います。

## 交流人口増加へ

遠藤雅信委員

**問** すずらん農園の利用者が減少しています。町外からの利用も多かつたようです。利用者を増やし交流人口を増加させる取り組みを考えるべきでは。

農林課長

**答** 現在、82区画のうち41区画が利用されています。ホームページでのPRを拡充し、交流人口の増加につなげていきたいと考えています。



▲積極的なPRを

## 雇用への影響は

大沼大名委員

**問** セントメリースキー場の閉鎖や青根温泉感謝祭の中止は、観光の影響が懸念されます。観光収入の向上や雇用機会の拡大に向けての取り組みは。

町長

**答** お祭りをやれば人が集まるという観点ではなく、違う形で観光振興など、議員の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



▲健診環境の整備へ

## 受診者の足の確保を

高橋義則委員

**問** 町内4カ所で行われていた住民総合健診は、今後会場が一本化されます。会場から遠い地区の受診率が低下しないよう、対策が必要だと考えますが。

保健福祉課長

**答** 熱中症が懸念される学校体育館を避け、安心安全な受診環境に改めます。また、新たに送迎業務の予算を計上し、移動も含めた快適な健診環境の整備、受診率向上に努めます。

## 実効性のある対策を

沼田長一委員

**問** 豚熱で減少していたイノシシが急激に増加し、農作物に被害が出ています。実態を加味した予算組みと対策が必要と思えますが。

農林課長

**答** 被害防止体制を維持しながら、捕獲と防除による実効性のある対策を講じていきます。なお、特別な事情により補正が必要になった場合は、柔軟に対応したいと考えています。



▲私有林の整備を期待

## 新たに技術員採用

佐藤清隆委員

**問** 令和6年度から森林環境税が住民税に上乘せになります。新たに林業専門技術員が採用されますが、どのような役割が期待されますか。

農林課長

**答** 技術員の採用により職員の育成を進め、私有林の森林整備事業を見える形で進めていきます。また、公共施設の建て替えに町有林を積極的に使うなど取り組みを考えています。

## 検討委員会の設置

生駒純一委員

**問** 新年度予算に基本構想策定費400万円が計上されています。検討委員会と基本構想策定の関わりや今後の進め方は。

町長

**答** 委員会では建設場所や建物の構造についての基本的な考えを取りまとめ、基本構想の策定を行うこととなります。慎重でありながらもスピード感を持って進めていきます。

## 早急な対応を

眞幡善次委員

**問** 以前、発達障がい児の受け入れ体制について質問しました。予算と人を確保したいとの回答でしたが、今回の予算には反映されていません。早急に対応すべきと考えますが。

教育長

**答** 教育委員会では専門の職員は配置していませんが、保健福祉課と連携し対応しています。また、専門の職員を配置した場合の支援も検討しています。



▲いろんな声を聞きながら



指定管理者決まる  
川崎町交流促進施設「るぽの森」



■提案理由  
川崎町交流促進施設に係る指定管理者の指定期間が令和6年3月31日をもって満了するため、新たに指定管理者を指定するものです。

■対象施設  
・交流促進センター  
・オートキャンプ場  
・自然散策施設

■指定管理者  
株式会社さかたや  
代表者 坂田政裕

■指定期間  
令和6年4月1日から5年間

条例改正

■提案理由  
より幅広く有能な人材確保を図るため、「川崎町職員の定年等に関する条例」の一部を改正するものです。

現行		改正後	
職	定年年齢	職	定年年齢
院長	70歳	院長	70歳
副院長	70歳	副院長	70歳
医師	65歳	診療科(医)長	70歳
		医師(医員)	65歳

工事請負契約

■工事名  
青根浄化センター遠方監視設備更新工事

■契約方法  
1者見積徴収による随意契約

■契約金額  
5500万円

■契約相手  
仙台市青葉区本町二丁目1番29号  
東芝インフラシステムズ株式会社 東北支社

令和5年度各種会計補正予算

■提案理由  
各種事業の精査に伴い各会計の予算を補正するものです。

会計	補正額
一般会計	1億 3364万円 減
国民健康保険特別会計	6424万円 増
後期高齢者医療保険特別会計	558万円 増
介護保険特別会計	1675万円 減
公共下水道事業特別会計	8856万円 増
病院事業会計	1317万円 増

人事案件

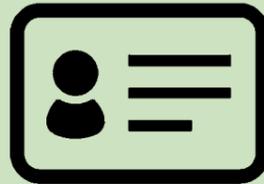
人権擁護委員(再任)



おおぬま ひとみさん  
(本荒町)

令和6年7月1日から  
令和9年6月30日までの  
3年間

当町におけるマイナンバーカードの取得率は、県平均と比べ依然、低い状況です。国は、今年秋以降、健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一体化の方針を示しています。普及促進に対する新たな対応を検討してください。



地球温暖化対策の推進を踏まえ、新たな事業が予算措置されました。この事業は、ゼロカーボンシティを宣言した当町にとって非常に重要な取り組みです。積極的な周知を進めてください。



セントメリースキー場の閉鎖と青根温泉感謝祭の中止が決まりました。観光資源として大きな役割を果たしてきましたが、今後の跡地利用や交流人口増加に向けて、計画的な対応策を講じてください。



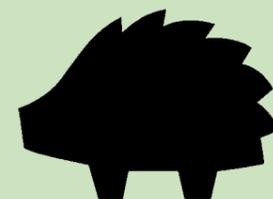
要望決議

予算特別委員会・総括質疑から重要な項目を議発案として取り上げ、要望決議として提出しました。

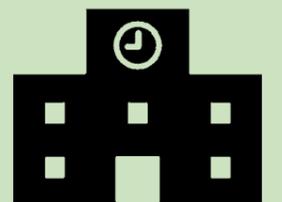
令和6年度より住民総合検診会場の一本化が示されました。これまで取り組んできた受診率向上施策に逆行する形にならないよう、受診しやすい環境づくりに取り組んでください。



豚熱感染により一時的に減少したイノシシが急激に増加し、農作物に被害をもたらしています。また、熊による人的被害も全国的に発生したことから、実態を加味した有害鳥獣対策を講じてください。



川崎小学校等の建て替えは、検討委員会や基本構想策定の過程において、今後の方向性や考え方をしっかりと示しながら、町民に理解いただける教育環境整備に努めてください。





# 町政を問う

## 7人の議員が質問

一般質問は、町政全般の執行状況を質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆佐藤 昭光 議員 ..... 13
  - (1) 限界集落について
  - (2) スキー場の閉鎖について
  - (3) 少子化対策について
- ◆大沼 大名 議員 ..... 14
  - (1) 入札制度について
  - (2) ふるさと応援商品券
- ◆佐藤 清隆 議員 ..... 15
  - (1) 安心安全な学校給食を
- ◆的場 要 議員 ..... 16
  - (1) 災害協定と自治体間連携
- ◆遠藤 美津子 議員 ..... 17
  - (1) 超高齢化社会に向けて
- ◆高橋 義則 議員 ..... 18
  - (1) 聴力検診と補聴器購入補助を
  - (2) 龍雲寺前の基盤整備
- ◆遠藤 雅信 議員 ..... 19
  - (1) 企業誘致について

### 問

限界集落化の現状は

### 答

現在3行政区、今後増加も

65歳以上の高齢者が人口の50%を超すと、地域の共同体として維持が困難になることから、「限界集落」といわれます。

**問** 当町の22行政区単位で見ると、どんな傾向がみられますか。

**答** 町長 令和5年12月末時点で、小沢61%、続いて川内二と本砂金の52%の3行政区です。ほかには限界集落に達していませんが、今後増加すると予想されます。

**問** これまでの施策は人口減少に有効性がなかったように思われますが。

**答** 町長 さまざまな要因が絡み合い、抜本的な施策、特効薬はありません。子育て支援や教育環境の充実、空き家バンクなどを柱に施策を展開していきます。

**問** 総務省統計研究官の講演で、統計を基に人口構造の変化を正しく把握し、将来を見据えた施策が必要と指摘を受けました。町長のビジョンを伺います。

**答** 町長 女性が子どもを産める、父親が子育てできる環境をつくっていく。そういう働きかけをしていかなければならないと思っています。

**問** 閉鎖は説明不足では

**答** 自らの責任でと自覚

**問** スキー場閉鎖は唐突。議会、町民に対し説明不足では。

**答** 町長 町民に対しては説明不足だったかもしれませんが、自らが説明する責任があると自覚しています。

**問** 現状復帰の費用は試算していますか。

**答** 町長 試算はしていますが、今後の活用が明確にならないと積算は困難です。

**問** 閉鎖による観光への影響は。黒字化に成功した「るぼぼの森」に影響があるのでは。

**答** 町長 観光だけではなく、さまざま事業に影響があると考えています。るぼぼの森の代表者からは「企業努力で乗り越える」との言葉をいただいています。



さとう しょうこう 議員  
佐藤 昭光



質問・答弁の動画は  
←こちらから



▲町のメイン道路も人影少なく...

**問** その他の質問事項  
子育て支援策の効果は  
**答** 人口対策に寄与



おおぬま ひろし 議員  
大沼 大名



質問・答弁の動画は  
←こちらから

## 500円券については

### 答 利用しやすさを検討

**問** ふるさと応援商品券のA券、B券の利用状況はどのような傾向ですか。

**答** 町長  
A券は全店共通、B券は地元小売店専用として、これまで7回交付しました。利用実績は79%です。A、B券ともに、ガソリンスタンド、コンビニ、食料品店での利用が多い状況です。

**問** 商品券は1000円単位ですが、地元商店での利用しやすさを考えれば、500円券にしたほうが良いと考えますが。

**答** 地域振興課長  
ほかの自治体の状況を確認しながら、地元商店での利用しやすさ、そして町民の利用しやすさを考えて検討していきます。



▲500円券なら利用しやすいかも

**問** 入札には、どのような事業者が参加したのですか。

**答** 町長  
飲食施設運営や施設給食受託実績がある6事業者を指名し、4者が辞退、2者が入札に参加しました。

**問** この入札辞退は民法第1条にも違反しています。賠償金の設定など、再発防止策が必要と考えますが。

**答** 町長  
選定委員会では実績などを参照し、業務を実施できる能力があるかを審議しています。また、今回の指摘も含め、入札のやり方にさまざまな形で反映させていきます。

数年前、小中学校給食調理業務の入札で落札した事業者が辞退し、町の業務に混乱を招きました。このようなことは、社会的な信義誠実の原則に反する行為であり、入札制度の根幹を揺るがす事態と考えます。

## 再発防止策が必要では

### さまざまな形で反映していく

## 答



▲入札情報は庁舎前掲示板やホームページでチェック

## 問

### 物価高騰で学校給食は

## 答

### 当面は据え置き

長引いたコロナ禍や国際情勢の混乱などから、あらゆる物が値上げされてきました。特に食料品の値上げは、各家庭の家計を圧迫しています。物価高騰は今後も続くと思われる、学校給食への影響も心配されます。

**問** 学校給食が無償化された今年度、一食あたりの単価も見直されましたが、この単価で十分ですか。

**答** 教育長  
令和4年度後半の給食費収支状況と値上げされた食品等を加味し、一食あたり25円値上げしました。1月までの収支状況から、この単価でやりくりできると考えています。

**問** 急激な物価高騰のなか、限られた予算内で「質」や「量」を確保してきましたか。

**答** 教育長  
基準となる栄養価を満たした副菜を提供することを前提に、肉の部位を変更したり、デザート回数減らしたりするなどの工夫を行いました。

**問** 小中学校では令和4年8月から完全給食に移行しました。これも園の乳児棟では完全給食ですが、幼児棟ではご飯をもっていないか、どう考えていますか。

**答** 教育長  
今まで検討したことはなかったもので、どんな課題があるのか調査するところから始めていきます。

**問** 他市町では物価高騰による値上げ分を、補正予算を組んで対応しているところも多くありました。「質」や「量」を確保するには現場の工夫だけでは限界があります。柔軟に対応すべきでは。

**答** 教育長  
食品の価格などを踏まえたうえで、必要であれば予算の補正なども検討しながら、子ども達に一定の栄養価、量を担保した給食を提供していきます。



さとう きたか 議員  
佐藤 清隆



質問・答弁の動画は  
←こちらから



▲現場の工夫だけでは…

**問** こども園の給食は、このままの単価で維持できるのですか。

**答** 教育長  
こども園は開設以来、給食費単価の改定は行わず、一食230円です。しかし、一食あたり40円から50円程度、保護者負担を上回っており、この分は一般会計から持ち出しで対応しています。



▲楽しい学校給食



ま と ば かなめ 議員 的 場 要



質問・答弁の動画は ←こちらから

## 問 近県自治体との連携を

## 答 次の段階には必要

東日本大震災以降に当町の災害協定は大きく前進し、民間・自治体間広域協定は20以上となりました。さまざまな分野で協力をいただけることに感謝していますが、今後は近県自治体との個別の連携も必要だと思えます。

**問** 当町の災害に備えた備蓄品は250人が3日間過ごせる量を準備しています。近隣自治体と明確な数字を把握できる環境をつくりながら連携をしていくことで、費用削減になるのでは。

**答** 町長 お互いにすぐ助け合える状況をつくっていくというのは、次の段階には必要なことだと思います。そういった関係を持てる市町村と連携できるように模索していく必要があると思います。



▲個別連携で費用削減へ

**問** 当町ではLINEの公式アカウントを取得しました。町の情報発信だけではなく、近隣自治体の特殊詐欺情報やイベント情報なども共有すれば、犯罪防止、交流人口の創出につながります。自治体間情報共有の考えは。

**問** 既にホームページやSNS等を活用いただけていますが、LINEの場合はプッシュ型ですから、登録さえしておけば勝手に情報が入ってきます。住民サービスの向上という点では非常に有効だと考えますが。

### 答 地域振興課長

今年度中に職員におけるソーシャルメディア利活用に関するガイドラインを策定する予定です。来年度以降公式LINEと併せて、災害対応に活用できるオープンチャットも検討しています。

### 答 町長

人口減少の問題で若い方々、特に女性の声を大切にしなければならぬという意見を伺いました。いろんな人たちのニーズに沿えるように努力します。



▲公式LINE運用に期待

## 問

## 独自のエンディングノートを

## 答

## 普及啓発活動を進める

町の人口は1月末で8098人、65歳以上は3260人、高齢化率は40.3%です。そのうち75歳以上は1592人で、総人口の19.7%となっております。高齢者に対する施策の充実を図ることは急を要する課題です。

**問** 終活の取り組みへの関心が高まっています。行政サービスの情報を盛り込んだ、町独自のエンディングノートを作成する考えは。

**答** 町長 身寄りのない高齢者の増加をはじめ、介護や医療の現場で本人の意思を確認できないケースが増えていきます。町独自の記入しやすいエンディングノートを作成を進め、万が一への準備を促進していきます。

**問** 人生の終えんを考えることで自分を見つめ、よりよく生きるために、セミナーや講習会などを開く考えは。

### 答 町長

人生を豊かにするための終活講演会を開催しています。これからもセミナーや講習会などを検討しつつ、各地区のサロンや老人クラブ活動、各種地域活動に併せて、ノートの普及啓発活動を進めていきます。



▲楽しいサロン活動

**問** シニア世代の就業、地域活動の支援体制整備が必要では。

### 答 町長

シルバー人材センターの活用や老人クラブなどを積極的に応援し、地域の担い手として活躍していただきたいと考えています。地域コミュニティの向上を支援しながら、関係機関と密な連携体制を築いていきます。

**問** 町と社会福祉協議会と個別に実施している高齢者支援事業を、今後一元化する考えは。

### 答 保健福祉課長

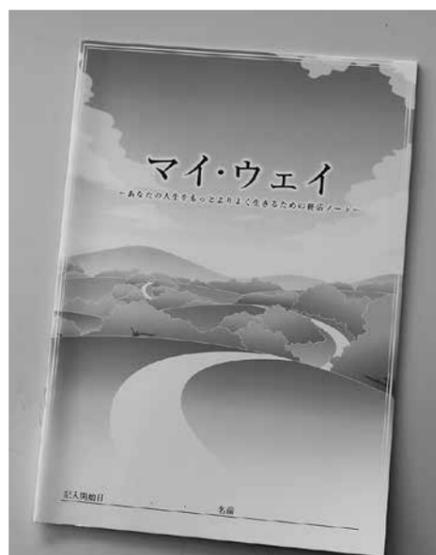
社会福祉協議会が実施している事業のなかには、町と同じ目的のものもあります。今後、そういった事業を統合できるのか、社会福祉協議会と検討していきます。



えんどう みつこ 議員 遠藤 美津子



質問・答弁の動画は ←こちらから



▲エンディングノートの普及を



えんどう まさのぶ  
遠藤 雅信 議員



質問・答弁の動画は  
←こちらから

北川原山地区の工場適地について、興味を示した事業者と交渉を進めていると説明がありました。大量の地下水を使う見込みであることから、補正予算を組み、地下水の調査を実施しています。

## 答

可否は年度内と推測

## 問

企業誘致の進捗は

問 どのような結果が  
出ましたか。

答 町長 毎分80リットルの水が算出されました。水道水の水質基準に適合しない項目があったものの、水処理施設を用いれば問題ないとの結果になりました。



▲286号沿いの工場適地

問 当該事業者との交渉の進捗状況は。

答 町長 昨年は3回打ち合わせ等を行い、調査の立ち会いもしています。今回の調査結果を提供し、令和6年度中には進出の可否が示されると推測しています。

問 工場適地の下水処理能力は十分ですか。

答 町長 来年度、公共下水道事業計画の見直し時期ですので、事業者からの利用計画等を確認しながら、汚水量が多い場合は計画見直しを進めます。

問 この企業誘致は、ぜひ実現させなければならぬと考えます。誘致により雇用が生まれ、また若者が町内に残ります。改めて町長の考えは。

答 町長 できることは何でもやっています。しかし、町内の事業者も人手を求めています。多くの人を呼び込めるようなまちづくりをしていかなければならないと考えています。



▲地下水調査も完了



たかはし よしのり  
高橋 義則 議員



質問・答弁の動画は  
←こちらから

## 補聴器購入の助成を

## 問

## 手帳所持者に支援

## 答

第8期介護保険事業計画では、当町の令和5年度の高齢化率は39・6%を見込んでいます。高齢になるにつれ耳の聞こえが衰えます。また、難聴は認知症になりやすいとも言われています。

問 住民健診で聴力の検診は行われています。今後、実施すべきと考えますが。

答 町長 住民総合健診での聴力検査は法令上の必須項目ではありませんが、定期的な検査の必要性や効果を検証していきます。また、健診受診者に対して有益な情報提供のあり方などを検証していきます。

問 老人性難聴者や若年性難聴者など、すべての難聴者を対象とする補聴器購入助成の制度を作るべきでは。

答 町長 現在は障害者総合支援法に基づき、手帳所持者に対して支援を行っています。また、補聴器購入経費を医療費控除の対象としていきますので、間接的に支援される仕組みとなっています。



▲聞こえの補助として

## 答

説明会や視察を実施

## 問

基盤整備の今後は

以前より龍雲寺前の基盤整備は、町民や議会でも必要性について意見がありました。現在も農林課を中心に意見交換などが進められています。

問 国庫補助を活用するためには組織の立ち上げが必要になります。町が公社を立ち上げ運営する考えは。

答 町長 公社や第三セクターは自治体が経営に関与しますので、経営が悪化した場合、責任の所在が曖昧になることが懸念されます。まずは農業生産法人の設立に向け、取り組みの支援をしていきたいと考えています。

問 基盤整備の実施に向けた今後の取り組みや進め方は。

答 町長 昨年10月に地元区長や地区の農業委員など、関係者への説明会を実施しました。3月には若い農家を中心に意見交換会を開催します。今後も話し合いを継続し、先進地の視察なども実施したいと考えています。

# 総務民生常任委員会

調査日 2月8日

## 調査事項① 国保川崎病院の運営状況 連携強化の継続を

### 【調査結果概要】

本年度の病院事業収入は、令和4年度決算総収益の8億9506万円と同程度になる見込みです。前年度決算では、燃料費や人件費が増額しましたが、非

常勤内科医2名の勤務終了による報償費の減額等もありました。事業費全体では3135万円の増額となり、最終的に3633万円の純利益を計上しました。本年度も同様に純利益の計上が見込まれてい

ます。入院患者数は、安定経営の目安となる利用率70%以上を確保していくため、基幹病院である「みやぎ県南中核病院」との連携を強め、引き続き患者数の確保を図っています。



▲町に欠かせない病院

### 【委員会意見】

入院患者を確保するため、基幹病院である「みやぎ県南中核病院」との連携強化は欠かせません。引き続き関係継続するための対応を望みます。また、常任医師確保のため、現在勤務している医師の定年延長も含め検討してください。

看護師などの人材確保が難しい状況です。今回新たに3名の採用が内定していますが、今後、安定した訪問診療運営のためにも対応できる体制づくりに取り組んでください。

## 防犯対策の取り組み

## 啓発活動と情報発信

### 調査事項②

### 【調査結果概要】

町内の犯罪状況は、令和4年度が24件、令和5年度が26件となっています。そのうち窃盗は令和5年で20件発生しており、今後、凶悪犯罪へ発展すること

も懸念しています。また、特殊詐欺被害は令和4年に1件発生している状況です。対策として防犯指導隊によるパトロールの実施、特殊詐欺対策電話機等購入補助金、子どもや高齢者への防犯



▲防犯灯設置拡充へ

### 【委員会意見】

全国的に特殊詐欺の認知件数・被害額ともに増加傾向にあり、非常に深刻な状況になっています。当町では大きな被害になっていないものの、近隣自治体等で発生した詐欺電話等の情報についても、町広報紙をはじめチラシを活用した啓蒙活動

や町ホームページ、インターネット等、さまざまな手段で情報発信に努めてください。また、こども園、各学校に設置された防犯カメラですが、今後、町内への設置拡充も検討してください。

# 産業建設教育常任委員会

調査日 2月7日

## 調査事項① 遊休農地の現状 実情を踏まえた協議を

### 【調査結果概要】

農業センサスによると、当町の総農家数は令和2年から632戸で、平成27年から143戸(18.5%)減少しました。遊休農地の面積も増加しており、令和

5年度には247軒と5年間で91軒増加している状況です。遊休農地増加の主な原因は、高齢化や後継者不足、中山間地域特有の耕作の利便性等が悪く採算が合わないことなどです。

農業委員会では、遊休農地の解消に向けて農地相談等の情報交換を進めながら担い手に貸借等の交渉を進めるなど対策を講じていますが、増加が止まらない状況です。



▲継続的な農地の適正管理を

### 【委員会意見】

新規認定農業者の確保や農地等の斡旋(あせだ)など遊休農地の解消に努めています。高齡化や規模拡大の限界感等もあり農地集約や遊休農地解消は年々難しい状況となっています。引き続き遊休農地解消のため、農地の適正管理を継続的に行うよ

う、貸借等の相談も含め働き掛けてください。また、農地の集約、維持については、関係機関等と連携し、農家の意見を伺いながら、地域の実情を踏まえた担い手の育成も含め協議検討してください。

## 調査事項② 温泉事業の管理体制 補修計画の整備を

### 【調査結果概要】

青根温泉では、7カ所ある源泉から集めた温泉を一括管理し、各温泉旅館等へ供給しています。安定した温泉

使用料を収入源とし、施設の維持管理に努めています。また、限られた予算のなか計画的に各施設の補修等を実施しています。なお、令和5年度末

の温泉事業特別会計基金積立金は、昨年11月

に実施した大湯送湯ポンプ更新工事の費用770万円を基金から補填したことにより、約3530万円を見込んでいます。



▲安定した温泉供給を求む

### 【委員会意見】

温泉使用料を徴収しながら、7カ所ある源泉施設の維持管理を行っています。限られた予算のなかで老朽化している施設の維持管理には苦慮しているところ。引き続き適切な管理を行い、一時供給停止となることがないよう

管理体制と補修計画を整えてください。また、業務は温泉の温度と量、そして施設の管理であることから、民間への移行や町の関わり方など、行政区や温泉受給者等と検討を深めてください。

調理師専門学校を卒業後、イタリア料理店で経験を積み、3年前にJAみやぎ仙南川崎特産センター内でレストラン「farmer's table mano（ファーマーズテーブルマノ）」を開業。自ら育て加工した豚肉や地元食材を使ったイタリア料理を提供する佐藤剛さん・麻衣子さんご夫妻を紹介します。



▲「たけし豚」への想いを語る



▲自家製ハムやパテ、地元野菜を使った前菜

**ドイツ農家に  
あこがれて**

**Q** 剛さんが養豚を始めたきっかけは。

**A** 高校生のころにテレビで見たドイツの農家がきっかけです。晩秋に豚を丸ごと保存食に加工して、冬場に家族で食べて過ごすという姿に感動しました。「自分もいつかはやってみたい」と思っていました。

**すべて  
自分の手で**

**Q** 「たけし豚」の特徴はなんですか。

**A** 豚は通常半年で食肉になりますが、「たけし豚」は自給の餌と放牧で1年間育てており、うま味と歯ごたえがあるのが特徴です。生産から加工・調理・販売まで、すべて自分が手掛けているのが強みだと自負しています。

**地元食材を  
楽しんで**

**Q** お店のコンセプトはなんですか。

**A** 食材にこだわった料理なので、少し高めの価格になってしましますが、記念日など「ハレの日」のご利用もぜひ。多くの方に地元食材の美味しさや、手仕事の器の温もりも楽しんでほしいです。

**二人三脚で  
想いを形に**

**Q** 奥様は協力隊出身と聞きましたか。

**A** 東京で勤めていましたが、自然の豊かさに惹かれ、町の地域おこし協力隊に応募しました。活動のなかで剛さんに出会い、手間を惜しまず本当に美味しい物を提供する姿に共感し、力を合わせて開業しました。

**事業者への  
サポートを**

**Q** まちづくりに対して町や議会に要望はありますか。

**A** 議会ですら1回くらいは各飲食店を訪問して、どのようなものを扱っているか感じてもらいたい。また、観光協会や地域おこし協力隊などで、事業者の情報発信やサポート体制を作ってもらえれば、助かると思います。



麻衣子さんと剛さん  
(小野)

## 一緒に議会広報をつくってみませんか？

# 募集

### 議会広報モニター ボランティア

議会広聴・広報委員会では、「見やすい、読みやすい、わかりやすい」広報紙を目指し、町民の方に議会情報便の企画・編集等へ協力していただく「広報モニター制度」を導入しています。

写真撮影が好きな方など、広報モニターに興味のある方は、議会事務局までお問い合わせください。

#### ■募集内容

18歳以上の町民の方。  
主な役割は編集作業への参加や写真の提供などです。



あなたの想いを  
広報に！

お問い合わせは議会事務局へ  
TEL (0224) 84-2301

# お知らせ

## 掲載写真を募集します

### 議会を傍聴して みませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は6月11日(火)~14日(金)  
一般質問は6月12日(水)・13日(木)  
午前10時、再開の予定です。

### 議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は3月会議14人、ライブ中継は119アクセスでした。)

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。  
※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

詳しくは議会事務局まで **TEL (0224) 84-2301**

## 町の風景



## 幻想的なライトアップ

撮影場所：国営みちのく杜の湖畔公園

撮影：広報モニター 藤原 義信さん

表紙の説明「大きな声で！元気いっぱい！」

川崎小学校入学式にて

撮影 広報モニター 佐々木 和人さん

## 議会映像配信

議会の様子が見いただけます。



発行：川崎町議会  
編集：議会広聴・広報委員会

〒989-1592  
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1  
TEL(0224)84-2301・FAX 84-6789  
E-mail:kawasaki12@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷：株式会社ユーメディア